

令和3年度 事業報告書

館名：笠原児童館

※事業区分「1」…仕様書事業、「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	実施日・事業名	指定回数	年度評価		実施回数 R2	R2 参加人数					実施回数 R3	R3 参加人数					事業内容、利用者の満足度・評価等
				R2	R3		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
乳幼児と保護者を対象とした事業	1	【乳幼児クラブ(0歳)】 ベビーズクラブ	10	13	14	10	85	0	0	72	157	13	215	0	0	176	391	七夕飾りの工作・ハロウィンの仮装・クリスマス会など季節行事を楽しみ交流が深まった。後期は口コミで最終的に29組の入会となり、二組に分けて丁寧に親子に向き合えるように工夫した。磁石遊びやパラシュート・ソリ遊び等、親子で楽しめる活動を行った。
		【乳幼児クラブ(1歳)】 わんわんクラブ	10			10	60	0	0	51	111	12	123	0	0	101	224	親子のふれあいに重点を置き、子どもが参加しやすい活動を多く取り入れた。手遊び・体操等を子どもにも分かり易くすることで、積極的に親子で体を動かし、リフレッシュにつなげた。製作は発達を考え、子どもの成長・個性が残せる作品づくりを行った。
		【乳幼児クラブ(2歳)】 ちびっこクラブ	10			10	83	0	0	46	129	12	68	1	0	45	114	年齢発達を踏まえた(プレ入園)活動を行った。たくさんの手遊びなど発達を考えた工作、ハロウィンでの仮装等、この年齢に達したからこそ出来るようになった我が子を複数の保護者と共に喜び合える場面をたくさん作った。
		小計				30	228	0	0	169	397	37	406	1	0	322	729	
	2	【おはなし】 おはなしランド	－	15	15	12	82	1	0	48	131	9	43	16	0	37	96	開催日時を工夫し木育ひろば開催日に設定し、複数名が来館したところを見計らい、「お話はじめるよ～」の声かけで、終日の開催を試みた。ペープサート・パネルシアター・パペットなど絵本にとどまらず、様々な素材(木製の立体の絵本等)を使用し、工夫した。
		【工作】 親子でTRY	－			4	23	0	0	15	38	1	4	0	0	2	6	親子で簡単に作れる工作の提供。身近なりサイクル材料で室内あそびが出来る玩具を作成。家庭でも楽しめるアイデアを提供した。また、異年齢の親子が参加する事で交流が広がった。輪投げの輪を作って職員が手作りした的に投げ入れたり、複数の親子が参加する事で盛り上がり好評だった。
		【体力増進】 げんきっず	－			5	23	0	0	15	38	2	8	0	0	6	14	異年齢の幼児・園児が体を動かす事の楽しさを感じられるよう、その日の来館者の発達にあった活動を行った。ボール遊びでは沢山のスポンジボールや、プラスチックのボールを使用して複数の親子が安全に楽しく参加出来るように工夫をした。乳児も安心して同室で楽しめる为好評だった。
		【水遊び】 乳幼児水遊び(未)	－			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為未実施
		【父親祖父母支援】 軽スポーツで遊ぼう、パパズホリデイ、お手玉で遊ぼう	－			3	23	3	0	16	42	3	5	5	0	6	16	子育ての楽しさに気付いて貰えるような事業を実施。「軽スポーツ」では、オリンピックムードの高まりもあり父親も積極的に卓球を楽しんだ。「パパズホリデイ」では公園での複数家族の交流あそびを企画した。
		【その他】 プレベビー、英語で遊ぼう～ロリポップイングリッシュ、大きくなったかな、わくわくパーク、木育ひろば	－			13	112	1	0	74	187	22	133	34	0	121	288	乳児クラブ前の月齢児親子が参加し易いように、継続利用者(有資格者)が指導し、ベビーマッサージを楽しんだ「プレベビー」・コロナ感染拡大防止策で延期して行った「英語で遊ぼう」・毎月開催で発達記録が(表やグラフ)残せる「大きくなったかな」・公園に遊びに行く「わくわくパーク」などを実施した。また「ぎふ木育ひろば」の認定を受けた児童館として木育を学び作品を制作した。
		小計				37	263	5	0	168	436	37	193	55	0	172	420	

項目	事業 区分	実施日・事業名	指定回数	年度評価		実施 回数 R2	R2 参加人数					実施 回数 R3	R3 参加人数					事業内容、利用者の満足度・評価等
				R2	R3		乳幼 児	小学 生	中高 生	大人	合計		乳幼 児	小学 生	中高 生	大人	合計	
児童を 対象とした事業	1	【小学生クラブ1】 一輪車クラブ	6	13	13	10	0	54	0	0	54	16	0	157	0	0	157	児童館まつりでの発表を目指し、2人で行うコンビ技の練習の他に、発表で使う小道具の製作も自分たちで行うなど、協力しあって練習した。当日は遊戯室とは異なるコンディションの中、クラブ全員で風車の大技を成功することができ、満足した様子だった。
		【小学生クラブ2】 どれみクラブ	6			6	0	13	0	0	13	14	0	31	0	0	31	音符の書き方や音階など、楽譜を読むための勉強も取り入れた。コロナにより練習時間が少なくなったが、児童館まつり当日は発表曲の「糸」と乳幼児と一緒に歌える歌として、「しあわせなら手をたたこう」を披露した。
		【小学生クラブ5】 キックジュニア	6			6	0	11	0	0	11	5	1	21	0	2	24	館内の装飾等、児童館での作業を中心に活動した。児童館まつりの今年の飾りのテーマを決め、利用者が作れるように飾りの準備・企画から行った。児童館まつりでは縁日スタッフとして各ブースの仕事を責任を持って取り組んでいた。時には自分のブースの催し物の宣伝をするなど、自主性が感じられた。
		【ボランティア活動】 クリーン大作戦、おたすけキッズ	－			4	1	5	0	0	6	13	8	52	0	9	69	クリーン大作戦では乳幼児室のおもちゃの整理整頓、消毒作業のお手伝いをした。おたすけキッズは児童館業務のお手伝いをするというスタンスで実施してきているが、令和3年度は平日に遊びにくる小学生のボランティア活動として、工作イベントの材料作り等、イベント当日の運営を中心に実施した。
		小計				26	1	83	0	0	84	53	10	282	0	13	305	
	2	【学習支援】 宿題大作戦	－	13	13	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	2	長期休みの宿題を持ってきて児童館で学習した。分からない問題は母親や職員にヒントをもらいながら自分で答えを導き、集中して取り組んでいた。
		【工作】 工作教室、つくっちゃおう	－			4	0	21	0	6	27	3	2	26	0	22	50	核融合科学研究所の指導で「四足とことろボット」を開催。分かり易い説明と材料を自分で選んで作品をカスタマイズできるところから、子どもたちの創造性を感じられる作品が多かった。つくっちゃおうでは参加費を無料で統一し、誰でも参加でき、簡単にできる工作を企画し、多くの参加者が楽しんだ。
		【体力増進】 ニュースポーツで遊ぼう、卓球をしよう	－			2	2	4	0	1	7	6	14	33	0	23	70	ニュースポーツで遊ぼうではボール落とし、ピンボールリングを実施した。どちらも父親も含め親子同士の競い合いもあり楽しむ姿があった。「卓球をしよう」は定期的に開催し、卓球台に届かない低学年には段ボールでラケットを作り、卓上卓球台が楽しめるように工夫した。
		【食育】 児童館ファーム、もぐもぐ(中)、リトルシェフ(中)	－			1	0	1	0	0	1	5	4	17	0	7	28	食の循環プロジェクトの一環として実施しているファームは、ジャガイモ掘り、いちご狩り等を行った。
		【館イベント】 お話の会、デイキャンプ、栗拾い(未)、トランプをしよう	－			2	0	9	0	0	9	3	5	19	0	13	37	デイキャンプは工作のみにし、木の実等を入れてテラリウムを作る活動にした。お話の会では広島原爆の日になみ「ちいちゃんのかげおくり」を読み聞かせ、参加者は最後まで注目して聞いていた。トランプをしようでは、知ってる遊びから新しい遊びまで職員と一緒にいき、楽しく活動した。
		【その他】 チャレラン、施設交流会、一輪車交流会(未)	－			7	1	30	0	1	32	11	1	36	0	2	39	まちがい探し・クロスワード・迷路等を毎月準備し、脳トレあそびを行った。その日に来た子たちと一緒に答えを考えたり、友達同士で手分けして完成を目指すなど、協力して取り組む姿もあった。施設交流会は、メッセージ入りの飾りを作ってお互いに交換することで交流会とした。
		小計				16	3	65	0	8	76	29	26	133	0	67	226	

項目	事業 区分	実施日・事業名	指定回数	年度評価		実施 回数 R2	R2 参加人数					実施 回数 R3	R3 参加人数					事業内容、利用者の満足度・評価等
				R2	R3		乳幼 児	小学 生	中高 生	大人	合計		乳幼 児	小学 生	中高 生	大人	合計	
地域交流事業、多世代間交流事業（乳幼児から大人）	1	【児童館まつり】 児童館まつり	1	12	13	1	24	4	0	38	66	1	26	46	0	45	117	感染防止の為、屋外での一輪車クラブ・コーラス・ママフラの活動発表を午前中に行い、発表した利用者から達成感の声が聞かれた。午後からは「縁日」を開催し、3つのブースに分けて密を避けた会場設営や進行に心がけ、安心して楽しめる工夫をした。当日はキックジュニアが縁日スタッフに入り、各ブースの運営をおこなうなど、1日を通して利用者と作り上げた児童館まつりだった。
		【調理講座・体験】(笠原のみ) 食の話 ファミリークッキング(中)、食育クッキング(食育サロン)、地域社協共催の調理事業(ほうば寿司作り、熱中症対策料理、月見団子作り)(未)	6			2	12	3	0	7	22	6	17	2	0	27	46	コロナ対策の為調理事業が自粛の期間は、食育に関する資料を渡したり、季節の野菜などを使ったレシピの共有などを行った。「持ち帰り前提の調理事業は可能」となってからは1月に地域で活動している食育クラブとの共催で乳幼児親子対象のメニューの試作を行った。
		【移動児童館】 こどもパーク、いこまい祭(中)、ふれ合い福祉まつり(未)、もみじまつり(中)、お正月フェスティバル、中央公民館もちつき大会(未)	-			0	0	0	0	0	0	2	43	66	1	55	165	飲食関係の出店を今年度は革製のキーホルダー作りに変更した。革の色、金具の種類を選び、革に模様やアルファベット等の文字をスタンプでつけ、小さい子から大人まで多くの参加があった。お正月フェスティバルはテーマが工作の日となったため、子どもの顔くらいの大きさの「びゅんびゅんゴマをつくろう」を出店した。参加者はマジック等で絵柄を書き、個性豊かな作品ができた。
		小計				3	36	7	0	45	88	9	86	114	1	127	328	
	2	【季節行事】 こいのぼりプロジェクト・セタプロジェクト・お正月遊び・けん玉をしよう・書初めをしよう・かるたをしよう・五節句	-	11	13	4	20	11	0	13	44	7	65	35	2	58	160	こいのぼりプロジェクトはこいのぼりのイラストを利用者に渡し、色鉛筆で塗って自分だけのこいのぼりを作った。セタプロジェクトでは短冊に願い事をしたため、館内に飾った。お正月遊びは何日かに分けて、すごろく、かるた、けん玉を行い、昔遊びに触れながら楽しく活動した。
		【館イベント】 進級お祝い楽しみ会、移動水族館、各カード作り(父の日・クリスマス・バレンタイン(中)、ひなまつり(中))、木育ひろば	-			9	95	5	0	65	165	8	106	41	0	119	266	進級お祝いお楽しみ会は児童館利用のルールをクイズにして出題したところ、全員正解した。その後はワードラリーと手裏剣作りをして楽しく過ごした。移動水族館は土岐川観察館と共催で、土岐川に住む生きものの触れ合い方を聞いた後、みんなで生きものと触れ合った。クリスマスカード、バレンタインカードの作成では親子で協力して完成するものにし、親子で楽しく作る様子が印象的だった。多世代対象の木育ひろばは園芸福祉グループの方を講師に迎え、実際に採取した木の実やまつぼっくりを使った豪華なリース作りを行い、参加者はとても満足した様子だった。
		【地域行事】 かさはら悠遊塾、どんど焼き	-			1	2	0	0	25	27	2	4	0	0	22	26	かさはら悠遊塾では頭を使うゲームを中心に行い、「身の回りのものでゲームができて面白い」等、楽しめたという感想が多かった。どんど焼きは笠原神明宮で行われ、各自持参したものを焼いて健康や字の上達を願った。
		【相互連携事業】 ボードゲームフェスタ	-			0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	2	5	笠原児童館の遊戯室を会場にして、6館共催でボードゲームフェスタを開催した。市内で活動する「まいたん」の方を講師に迎え、笠原のタイルを使った「モザイク」ゲームや世界のボードゲームを参加者と職員で行った。大人も子どもも夢中になってゲームを楽しんでいた。
		【避難訓練/防災防犯訓練】 避難訓練、防災訓練	-			9	69	10	0	43	122	10	33	34	0	26	93	防災訓練で例年やっていた煙体験はコロナ対策の為無くし、水消火器による消火訓練と防災クイズを実施した。水消火器訓練の前に、防災に関するクイズを出題したところ、参加者全員全問正解しており、普段から防災意識の高さが伺えた。
		【その他】 とまり木ランチ(未)	-			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	笠原親子ひろばで好評だった事業を引き継いで実施する予定だったが、コロナの為に飲食の事業ができず未実施となった。
		小計				23	186	26	0	146	358	28	209	112	2	227	550	

項目	事業区分	実施日・事業名	指定回数	年度評価		実施回数 R2	R2 参加人数					実施回数 R3	R3 参加人数					事業内容、利用者の満足度・評価等
				R2	R3		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
中高生事業	1	【中高生ボランティア】 中高生ボランティア	3	-	13	0	0	0	0	0	0	5	0	0	10	0	10	中学校に依頼し、地域のイベントの運営を中心に行ってきたが、地域行事は中止となったため、来館した中学生を対象に、乳幼児や小学生の遊びの補助をしたり、一緒に館内の飾りつけの製作や飾り付けの作業をした。最初は自分から話しかける様子はなかったが、保護者と話しながら、徐々に子どもたちとも積極的に関わり、職員さんからの対応が見られた。
		小計				0	0	0	0	0	0	5	0	0	10	0	10	
	2	【中高生会議・ハローワーク】 中高生ハローワーク	-	-	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13歳のハローワークからヒントを得て、自分見つけができるワークシートを行い、自分が知っている自分、他人から見た自分を知り、自己理解を深める活動を予定していたが当日は来館がなく未実施。
		【体力増進】 中高生スポーツ	-			0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	2	その日来た小学生に卓球の打ち方を教えながら楽しくやっていた。職員も巻き込んだゲームになると、同じチームの子と一喜一憂しながら楽しく活動していた。
		【乳幼児ふれあい事業】 乳幼児ふれあい水遊び(未)	-			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為未実施
		【その他】 中高生レストラン	-			0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	2	中高生に食育に関する知識を楽しく学んでもらおうと、「サラダマスター」というカードゲームを使って野菜の栄養素を使ったゲームを行った。普段食べている野菜の栄養素を想像する等、ゲームをしながら栄養素を楽しく学ぶことができた。。
		小計				0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	0	4	
子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進	1	【相談事業】 子育て相談日	12	12	13	1	1	0	0	1	2	8	1	1	0	2	4	事前予約の相談はなかったものの、子どもの学校での不安の相談があった。相談者の気持ちに寄り添うことを第一に対応した。利用者から随時相談を受けることもあり、いつでも職員が寄り添ったり、内容によっては他機関に繋げ、問題解決に努めている。
		【講習会、講演会、他団体連携事業】 防火教室(中)、親子で聴く冬の音楽会(中) 味噌作り教室、移動ぎふ木遊館	2			1	3	0	0	3	6	2	20	3	0	19	42	味噌作り教室は利用者の方を講師に迎え、減塩で甘口の味噌を紹介し、参加者に発酵の面白さや発酵食品の栄養等を伝えながら開催した。講師が利用者ということもあり、終始和気あいあいとした雰囲気味噌作りを行った。 移動ぎふ木遊館は岐阜市にあるぎふ木遊館の職員を講師に迎え、参加者に木のおもちゃと触れ合う時間を提供した。種類の違い、卵型の木のおもちゃなどを実際に触れ合いながら親子で楽しくおままごとをしたり、木のおもちゃを使った遊びを考えながら楽しく活動した。
		小計				2	4	0	0	4	8	10	21	4	0	21	46	
	2	【自主事業】 さわやかママフラ、ちびっこフラダンス、ままメイト、にじいろ	-	14	14	21	108	2	0	109	219	23	94	19	0	96	209	さわやかママフラ、ちびっこフラダンスは笠原在住の講師のもと、南国の音楽に癒されながらフラの踊り方を学んだ。長期休みには子ども対象に開催し、楽しく踊っている姿が印象的だった。ままメイトは子育て情報の資料配布や来年度の幼稚園・保育園情報の説明等、利用者の声を反映して開催。にじいろは利用者が講師となり、手形足型工作・ベビーマッサージ・スキンケア等を開催した。母親が主役になれるにじいろのリフレッシュ講座を、コロナ禍だからどうやって行くかを利用者と考え、来年度は母親クラブに繋げていくようににじいろの活動を増やした。講師が利用者のため、和気あいあいとした雰囲気活動していた。
		小計				21	108	2	0	109	219	23	94	19	0	96	209	